



# 特定非営利活動法人 女性技術士の会

## ニュースレターvol.11

本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみなさまへ、本会の活動内容を中心にお知らせいたします。

第11号では、2012年1月～4月の活動内容、会員からの発信、リレーエッセイ、部会報告、今後の活動予定などをお届けします。

### CONTENTS

<b>活動内容</b>		2 ページ
2012/01/14	香川高等専門学校技術サロン	2 ページ
2012/02/04	新年会報告	2 ページ
2012/02/04	第6回理事会報告	3 ページ
2012/03/03	第13回技術サロン（WPETF への協力）	3 ページ
<b>会員からの発信</b>		5 ページ
原千砂子さん	お宮参り雑感	5 ページ
<b>リレーエッセイ</b>		6 ページ
氷上澄子さん	女性技術士の会の歩みとこれから	6 ページ
<b>技術サロン参加学生からの感想</b>		6 ページ
■■■■■さん	技術士になること	6 ページ
<b>運営報告</b>		7 ページ
2012/02/08	第8回企画部会	7 ページ
<b>今後の活動予定</b>		7 ページ
2012/05/19	第5回通常総会	7 ページ
2012/06/13	第14回技術サロン	7 ページ
2012/10/17	第6回日韓女性技術士交流会	7 ページ
<b>技術士をめざして</b>		8 ページ
黒木みつ子さん	技術士を目指して、新たなる世界への一歩	8 ページ

## 活動内容 (2012/1～2012/4)

- 香川高等専門学校 技術サロン
- ◆ 日 時：2012年1月14日(土)  
13:30～16:00
- ◆ 場 所：香川高等専門学校
- ◆ 活動形態：要請参加
- ◆ 主 催：公益社団法人日本技術士会男女共同参画推進委員会、WPETF
- ◆ 参加者：原田、渡辺、木下、磯打  
学生 20名、学校関係者 5名  
技術士会 1名



### ◆ 内 容：

- (1)「女性技術者による技術士制度」の概要説明
- (2)キャリアデザインやライフワークマネジメントに関する体験談(講師4名より)
- (3)自由な質問タイム

参加者からの質問では、「高専卒は就職に不利?」「大学卒は何が有利?」「技術者として必要な資格は?」など就職に関することや、「女性技術者として働いて得したこと、損したことは?」「昇給や給与面で男性より不利?」など、女性ならではの悩み、さらに「結婚は?恋愛は?家庭は?」などさまざまな意見交換を行いました。

後日談として、ご担当の先生から学生からも評価が高かったとお知らせいただき、うれしく感じています。

※ 参考：香川高専女子学生キャリア支援 WEB サイト 当イベントがトピックとして紹介されています

<http://www.kagawa-nct.ac.jp/girls/support/katudouhokoku/hokoku3.html>

### ■ 新年会報告

2月4日(土)ランチタイムの新年会が、目黒駅ビル内の謝朋殿にて行われました。お互いの近況報告のあと、賛助会員の佐藤国仁氏より「子どもの安全研究グループ」の活動紹介がありました。浴槽浮き輪、ベビーベッド、マニキュア除光液などの安全性の確保(除光液が危険との認識がないお母さんも..)に対して技術はどこまでフォローできるか、参加者大いに関心のあるお話しでした。佐藤様他メンバーの有志が、ネイルアートの専門学校でマニキュア体験をされたとのこと。なお、子どもの安全研究Gとは、会員MLにてご案内致しましたとおり、1月30日に「女性(母親)の技術者としての視点」からの意見交換会(メール参加含む)も実施しました。

今後も機会があれば、私たちの研鑽も兼ねて協働させていただく予定です。

### ■ 第6回理事会報告

- ◆ 日 時：2012年2月4日(土) 9時30分～11時30分
- ◆ 出席者：酒井一江(理事長代行)、石田佳子、角田ふで子、氷上澄子、木村了、関矢英士(監事)

審議の概要は以下の通りです。

#### 1. 23年度の総会について

5月19日(土)大田区産業会館Pioにて行う。

## 2. 24年度の事業・プロジェクト活動と部会運営について

プロジェクトは自主参加ではなく、部会で決定したメンバーによって構成。全員参加の体制をつくる。また、地方会員は全て広報部会の所属とする。

## 3. JSTの応募について

今回は企画部会が中心となり、女子中高生の支援となるロールモデルと出前講座を事業として、応募書類を作成する。

## 4. 震災復興支援プロジェクトについて

基金設立を宣言し、会員会費の一部は基金へまわす。

「理事会の議事録概要はホームページ「情報公開」のページでご確認できます。」

### ■ 第13回技術サロン

◆ 日 時：2012年3月3日（土）13：30～16：00

◆ 場 所：中央大学駿河台記念会館7階715会議室

◆ 活動形態：協力

◆ 主 催：公益社団法人日本技術士会 男女共同参画推進委員会

◆ 参加者：プロジェクト側 石田、角田、小林（男女共同参画推進委員会）、笹尾  
一般参加者 16名（女子学生7名、社会人9名）

◆ 経 緯：WPETFの主な活動目的の一つである女性技術者のキャリア形成支援事業の一環として、JABEE課程と技術士制度の説明及び先輩女性技術士との懇談を企画したもの。2008年11月に初回を実施し、同企画で第12回目。第11回目から、男女共同参画推進委員会主催で実施、NPOはこれに協力している。

◆ 目 的：JABEE課程履修及び技術者を目指す女子学生が、卒業後の技術者としての自分の姿を思い描き、学校での勉学をもとに、充実したキャリアを積んでいくために、現役の女性技術士と意見交換をする場を提供すること。なお、NPO法人賛助会員の支援により、NPOの震災復興支援事業の一環として、福島県の女子学生1名を招待した。

◆ 概 要：

○プログラム

1アイスブレイク 2『技術士』資格に関する説明 3フリーディスカッション

○内容

アイスブレイクを行い、主催者、参加者ともに打ち解けた。次に配布資料を基に『技術士』資格に関し、技術士として求められること、資格取得の要件、女性技術士の状況等について概略を説明した。その後で、参加者から技術士に関する質問、悩みごと、技術士(主催者側)に対する質問を受け、それに回答する形でフリーディスカッションを行った。



## 会員からの発信

■ 原 千砂子（建設部門 環境部門 総合技術監理部門）

「お宮参り雑感」

私は現在、(株)ニュージェック大阪本社で社会計画グループに在籍している。今年、還暦を迎える私が初孫のお宮参りに東京に出かけた。4日間この驚異の孫をみていて、自分が子育てをしていた時には気付かなかったことを色々感じる事ができた。



こんなに完璧に美しく生まれてくることへの驚嘆！「私たちは何も知らないのだ！」とあらためて思う。「どうして人間のこどもは人間になり、チンパンジーにはならないのか？」ということさえ私たちは知らない。必要以上に大きな脳の働きもほとんどわかっていない。胎内でたどる進化の道筋。鳥ははじめから完璧に飛べなければ、中途半端な鳥では生きていけない。そこには一体どんな力が働いているのか？

この子が大人になる時、どんなことが明らかになり、人類は飢えや貧困、戦争を回避できているのだろうか？現在は宇宙に存在する物質エネルギーのうち、74%が暗黒エネルギー、22%が暗黒物質で、人類が知ることが出来る物質は4%程度と言われている。にもかかわらずアンシュタインの相対性理論はカーナビなどに欠かせないもので、私たちの日常生活には大きく関係している。リサ・ランドールの「ワープする宇宙」には、テフロン加工のフライパンは、準結晶というものに覆われていて、それは高次元世界の投影だから、3次元世界の物質とは反応しないと書いていた。仕事ではメンテフリーのチタン膜構造のテント素材も同様である。

そして、赤ちゃんはおっぱいを飲むことと同様、それ以上にコミュニケーションをしたがる生き物だった。目を見る、話しかけると笑う、自ら話したがる・・・コミュニケーションは人間の本質だった！私たちは「どこからきてどこへ行くのか？」ということも知らないが、この子が日々獲得していく様々なこと・・・息をする、液体を飲みこむ、消化し排泄する、手足を動かす、話す・・・といったことを私は逆回しのように一つずつ手放して、この子が来たところに帰って行くのだなあ・・・と実感した。

私たちの親もまたその親もそう考えたに違いない。そうしてみると「お宮参り」と言う儀式の意味が少し分かってくる。「生命潮流」のライアル・ワトソンが「儀礼があるから日本が生きる」という本の中で「世界中の儀式は過去（祖先）とのコミュニケーション手段であり、そのままの形で執り行うことで参加者は変わることができる」と書いている。自然に対する畏怖、忘れてはいけない記憶を儀式と言う形で残してくれた祖先に感謝である。来年は伊勢神宮の式年遷宮にあたる。持統天皇が始めたと言われる遷宮は20年ごとに取り壊すことで、すべてが新たに蘇る。ピラミッドのようにそれ自体で永遠を目指さず、人と技術を少なくとも千数百年に渡って受け継いできた日本のキーワードは「常若」である。

もし、お宮参りに行かれる機会があれば、神社の入り口で神様にお尻をむけて写真を撮るのではなく（子育て中の私のこと）、生まれた所の小さな氏神様（産土神）で正式参拝をされることをお勧めする。赤ちゃんはちゃんと感じているのである。



## リレーエッセイ

■ 氷上澄子さん（上下水道部門） 「女性技術士の会の歩みとこれから」

1993年に任意団体の女性技術士の会が発足しその後2007年11月にNPO法人として再出発して通算19年の年月が経ちました。

会社で仕事をしていた35年間に次ぐ女性技術士の会は私にとっては長い関わりのある大切な会です。ここで仕事では関わられなかったいろいろな分野の技術系の女性と知り合いになれていつもパワーをもらいました。



会のことを振り返ってみると、当初から会に登録していましたが、最初の2年間くらいは仕事が忙しかったこともあり名前だけでした。また、職場では男性に囲まれて仕事をしていたので、女性の会にちょっと抵抗があり、二の足を踏んでいた記憶があります。

会の活動が活発になったのは、1996年に開催された第23回技術士全国大会（創立45周年記念大会）が横浜ロイヤルパークホテルで開催され、女性技術士の会として参加したことでした。その前は会員の講演を主として行っていました。

この全国大会では4ブースでチャリティーバザー、相談コーナー、書籍の販売、パソコンで地方との交信を行いました、バザーのコサージュは会員が毎月集まり手作りし楽しい時間でした。1999年千葉幕張メッセで開催されたICWES-11では開催団体の1員となり積極的に参加し、この時に皆さんからアンケートをとりそれを口頭発表して女性技術士の活動についてPRしました。

これ以降、国際活動の一環として3年に1度開催されるICWESには毎回会員10名以上参加してすっかり定着しました。この後はさらに活動の範囲が広がり会員も120名ぐらいになりました。

2007年にNPO法人として東京都に認定された後は最近のことで記憶に新しいことですが、科学技術の浸透、女性技術者の支援、海外の技術者との交流、まちづくりに関する各種事業への参画の4本柱に幅広い活動を続けています。

NPO法人になると毎年東京都に事業報告をするのですが、定款に基づいて運営が必要で、また、活動の資金面からの支援も必要で、活動費の確保はこれから更なる発展をするためには不可欠なことです。会費の滞納の方もいて2年間未納の場合は会計細則で会員資格がなくなるので、会の運営方法や会員の参加しやすい活動が今後の課題になります。（現在は協力会員を含めて約80名）

19年の歴史を持つ会の活動や役割は今さらに必要とされているのではないかと思います。震災の復興への私たちができることの模索、実施、女子学生や小中高生への科学や理科の浸透などたくさんあります。

女性技術士の会に入会したことは私にとって大きな力となり、またたくさんの人との出会いがあり大変、意義がありました。年代や分野の違う方との交流で女性技術士のすぐれた能力やどんな仕事でも乗り越えて遂行することなどを感じ私自身勉強になりました。今年の7月に古希を迎えるにあたり、若い人の活動への参加を心から願い、皆でアイデアを出し合っつきめ細かい活動を継続してほしいと思います。



さん

「技術士になること」

ご本人の希望により、個人情報保護の観点から  
HP上での掲載は控えております。

## 運営報告

第8回企画部会を下記のとおり行いました。

- ◆ 日 時：2012年2月8日（水）19：00～22：00
- ◆ 場 所：淡窓庵事務所
- ◆ 内 容：
  - ・科学技術振興機構主催「平成24年度 女子中高生の理系進路選択支事業取り組み募集」の応募案について
  - ・本法人会員としての名刺の作成について

## 今後の活動予定

### 第5回通常総会

第5回通常総会を5月19日（土）14時～16時、大田区産業プラザ Plo にて開催いたします。会員の皆様には、電子メールにて総会資料及び出欠案内を5月2日までに送信予定です。総会は法人にとって最も重要な会議です。出欠の回答を電子メールにてお願いします。なお、欠席の場合（正会員）は、欠席の回答とともに、表決権の行使も併せてお送りください。

総会案内がまだ届いていない正会員の方は [soumu-pelady@freeml.com](mailto:soumu-pelady@freeml.com)（総務・事務局）までご連絡よろしくお願いたします。

協力会員、賛助会員の皆様も是非ご参加ください。

### 第14回技術サロン（WPETF 活動への協力）

- ◆ 日 時：2012年6月13日（土）13：30～16：00
- ◆ 場 所：中央大学駿河台記念館7階715会議室  
〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5
- ◆ 対 象：JABEE 認定課程履修及び技術者をを目指す女子学生
- ◆ 内 容：「技術士」資格に関する説明、意見交換会
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 定 員：15名
- ◆ 申込先：廣瀬由紀 [wpetf@pej-lady.org](mailto:wpetf@pej-lady.org)

### 第6回日韓女性技術士交流会

- ◆ 日 時：平成24年10月17日（水）15:00～18:00
- ◆ 場 所：ホテルキャッスルプラザ（名古屋駅から徒歩7分ほど、日韓技術士会議と同じ場所です）
- ◆ その他：会議室内に小さなお茶室をセットし、ミニ茶会を開催する予定です。皆様どうぞご参加ください。

公益社団法人 日本技術士会 男女共同参画推進委員会主催 WPETF 協力  
第14回 技術サロン  
=技術者・技術士を目指す女子学生向け懇話会=  
6月13日(土)13:30~16:00 開催

対 象：技術者及び技術士を目指す女子学生・女性  
内 容：技術士資格に関する説明及び懇話会  
参加費：無料  
定 員：15名  
申込先：廣瀬 由紀 [wpetf@pej-lady.org](mailto:wpetf@pej-lady.org)  
申込先：廣瀬 由紀 [wpetf@pej-lady.org](mailto:wpetf@pej-lady.org)  
場 所：中央大学駿河台記念館  
7階715会議室  
〒101-8324  
東京都千代田区神田駿河台3-11-5  
申込先：廣瀬 由紀 [wpetf@pej-lady.org](mailto:wpetf@pej-lady.org)  
申込先：廣瀬 由紀 [wpetf@pej-lady.org](mailto:wpetf@pej-lady.org)

技術士ってどんな資格なの？  
私の目指す分野に、女性技術士  
はいませんか？  
どんな活躍を期待されるの？  
廣くってどんなこと？

女子学生の確約、異時に女性技術士が選べず、  
…ご志には男性技術士の7割に達せず…  
女性のキャリア形成のご支援、技術分野で働くこと、ご志  
と、技術サロンの開催にお申し込みませんか？  
※ 懇話会第13回技術サロンの開催です

## 技術士をめざして

■ 黒木みつ子さん「技術士を目指して、新たなる世界への一步」(修習技術者：環境部門)  
はじめまして、黒木みつ子と申します。今回、このような寄稿の機会をいただきましたので、私の自己紹介と技術士取得に向けての近況について、書かせていただこうと思います。

現在私は、愛媛県で暮らしているのですが、元々出身は大阪府で、高校まで過ごし、6年間の大学生活を高知県で過ごし、その後就職して神奈川県へ移り、約二年前に結婚のタイミングで現在の愛媛県に移ってきました。就職先は環境分析会社で、分析業務に携わっていました。また、今は大学の研究室で、派遣社員という立場で研究補助員として、環境中の薬剤汚染に関する研究の実験分析を担当しています。



大学の頃から環境問題への取り組みに興味があり、将来は環境問題の解決に携わることができる仕事に就こうと考えていました。技術士という資格のことは、就職先の会社の資料に載っているのを見て知り、今後の仕事の幅が広がると思い取得を目指しました。ただ、社内には技術士を取得している人はほとんどおらず、資格についての情報も漠然としたものでした。技術士の資格取得を本格的に目指すようになったのは、結婚をして会社を辞め、愛媛県に移った2年前くらいからです。ちょうどその年に第一次試験に合格し、セミナーや講演会などで技術士の方々とお会いする機会が増え、具体的に技術士の仕事というものを知ることが出来て、自分も技術者として仕事がしたいと願うようになりました。技術士として活躍されている様々な方とお会いすることにより、自分の世界が広がり、仕事への考え方も意識も変化しました。この様々な人と出会った経験が、自分の目指したい世界への始めの一步だと感じています。

そして、実は現在妊娠中で、この春出産予定なのですが、運よく職場環境に恵まれ、派遣社員という立場ではありますが、産休を取得することが出来ました。この恵まれた機会に、仕事や資格取得のこと、また今後の生活や育児等じっくりと考える時間が増え、日々大きくなるお腹と共に、決意を新たに今出来ることを存分に楽しんで過ごしています。今までは自分の状況のみで行動していたことも、これからは自分だけでなく家族の状況も影響することを考えると、今まで以上に責任を感じることも難しく感じることもあります。しかし、以前女性技術士の方々ともお会いする機会があり、仕事と育児の両立は一人でやろうとせず、周りの協力を上手く引き出すことが重要だと伺いました。その言葉をしっかりと心に留め、今ご活躍されている女性技術士の方々を目標に日々過ごしていきたいと思います。そして月日が経過し、今の自分のような立場の方と出会った時、自分の経験が活かされるような生き方を目指したいと思います。

今、自分ではこの先どのようなようになるのか想像出来ない状況の中、これからも様々な人と出会うことで、この未知の世界を進めていけたらいいなと思っています。まずは、初めての出産そして育児をがんばります。皆様、今後ともよろしくお願い致します。

ニュースレターについてのご意見・ご感想はこちらまで：[info@pej-lady.org](mailto:info@pej-lady.org)

2012年第2号 通巻第11号 発行責任者：特定非営利活動法人 女性技術士の会 理事長 岩熊まき